

学会活動報告

日本スポーツ栄養学会 研究プロジェクト・パイロット study 報告

高田 和子^{*1}、木村 典代^{*2}、香川 雅春^{*3}、岩本 紗由美^{*4}、横道 渉^{*5}、井上 瞳^{*2}、
佐藤 愛^{*6}

^{*1} 国立健康・栄養研究所、^{*2} 高崎健康福祉大学院、^{*3} 女子栄養大学、^{*4} 東洋大学、^{*5} 自衛隊体育学校、
^{*6} 立命館大学院

学会年度の2017～2020年度（2017年6月から2021年5月）に学会の研究プロジェクトのパイロットstudyを行っている。パイロットstudyとして、将来的な学会プロジェクトのあり方やルールを検討するとともに、研究プロジェクトとして、学会員が活用可能なデータベースや調査票の検討、学会員が研究に参加できる場の提供を目的としている。このプロジェクトの調査結果については、コア・メンバーで全体の状況を報告するとともに、各チームの結果については、参加した会員が学会発表や研究誌への投稿ができるように支援する予定である。2017年度より、コア・メンバーにより研究計画を作成し、2019年8月25日の学術集会時に、研究プロジェクト参加の説明会を実施し、73名の方の出席をいただいた。説明会に参加できなかった7名を加えた80名の方に、現在は詳細に関する情報提供を行っている。

今回の研究テーマは、1つは共通した調査票を使用して、食環境や食習慣に関する調査の実施である。調査票作成経験が少ない会員が、その時々に応じて調査票を作成するのではなく、共通して使用可能な調査票を作成することを目的としている。また、プロジェクト終了時には、会員が使用できる調査票を提示することと、各会員が自分のチーム等でデータを取った時に比較可能なデータベースを作成することを目標としている。

2つめのテーマは身体計測データベースの構築である。今回は、全国大会出場（社会人・プロの場合は1部リーグ所属）のチーム・選手を対象に統一した手法での身体計測を行っている。日本スポーツ科学センター（JISS）においては、トップアスリートの測定が行われているが、このプロジェクトでは、全国大会レベルのアスリートについて、テープやキャリパーを使用して、だれでも計測できること、また手技を統一することで、比較がしやすいデータベースの構築を目指



している。

11月末現在では、4種目5チームでの調査を終了した。これらは、主にコア・メンバーが関連しているチームでの調査であり、調査手順を整理しながら、今後のチーム等での調査がしやすいように調整を行っている。各学会員の関わっているチーム・選手を対象とした調査は2020年1～12月にできるように、調整をすすめている。詳細について知りたい、質問、参加希望があれば、ぜひこれからでも参加してほしい。自分が関わっているチーム等で調査あるいは、他のチームでの測定時に協力いただく形での参加が可能である。質問等については下記連絡先まで、連絡ください。

連絡先：〒162-8636 東京都新宿区戸山1-23-1

E-mail : kazu@nibiohn.go.jp